

あすなろ

熊谷女子高
校図書委員

第658号

2020年2月15日発行

Keep looking up...
That's the secret of life...

上を見続けよう...
それが生きること...

バレンタインドール

歴史

元々二百六十九年にローマ皇帝の迫害下で殉教した聖ウァレンティヌスに由来する記念日だと、主に西方教会の広がる地域においてかつて伝えられていた。

派生した文化

(オレンジデー)

近年では柑橘類生産農業などが四月十四日をオレンジデーと呼び、恋人同士で

師曰く 眼差し

その人は、エリック・カールの『はらぺこあおむし』を持って、現れた。私に読んでくださいというのか、なにゆえに妙齢の女性が絵本を私の前に差し出したのか、はじめはわからなかった。彼女の思いがわからないまま、私はその絵本のページをめくってみた。するとすぐに絵本に小さな穴がページごと空いているのが目に入った。さらに目を凝らしていると、それはあおむしが食べたところであった。なかなかおもしろいアイデアだなと思ったが、目の前にいる彼女には特段の反応はなかった。私は、ふと絵本の穴をのぞいてみた。すると彼女

オレンジを贈りあい、愛情の確認をすることを目的としていますが二〇一七年現在では社会への浸透は皆無に近い。

ヘイストームデー

バレンタインドールから十八日後の五月十三日の名称。別れ話を切り出すのに最適な日としている。ヘイストンバー・バレンタイン

女性から男性に別れを切り出してもいい日として九月十四日のことである。

に変化が見て取れた。「やっとなかったの。」とでも言いたそうな表情であった。その時、私は穴から周囲を凝視し、一点を見つめるようになった。そうか、彼女のメッセージは「じつと私(彼女)を見つめてほしい」なのか。それを彼女に伝えると黙って頷いた。彼女には、幼少期から他者(特に母親)の眼差しが少ないことがわかった。眼差しには「見守る・監視する・覗む」の三つがある。暖かく見守る眼差しこそ、人を育てる。そして、人は満たされなかったものを求める。それが何時か本人しかわからない。

☆このコーナーは熊女の先生から生徒たちへのメッセージです。

チョコチョコの作りかた

- ①チョコレートを湯煎で溶かす。
- ②チョコが全部溶けたら、フィンフレイク、マシュマロを入れて混ぜる。
- ③バットにサラシラップをひき、均等になるよう広げながら入れる。冷蔵庫で固まるまで冷やす。
- ④適当な大きさに切ってラッピングする。

材料

- チョコレート 300g
- フィンフレイク 90g
- マシュマロ 40g

熊女生へのおすすめ本

日本史B

関謙介先生

題名「もしものせかい」
著者 ヨシタケシンスケ

○この本との出会い

ヨシタケさんの絵本が好きなで出会った一冊です。独特の絵や世界観が可愛く、面白く、深いですね。

○おすすめポイント

絵本だからこそ考える余白が沢山ある点。子どものみならず大人にもお勧めの深い内容の一冊です。

著作権の都合により省略



著作権の都合により本文は省略



二月のあかり

石垣りん